



がんサロンを再開、  
ピアサポートと“癒しの環境”の更なる充実

コロナ棟の解体始まる  
職員対象の災害対策研修を実施しました  
肺炎球菌予防接種（定期接種）のご案内

● Take Free ●  
ご自由にお持ち帰り下さい

# がんサロンを再開、ピアサポートと“癒しの環境”の更なる充実

看護部・がん性疼痛看護認定看護師・浅川 寛子

## 各診療科と多職種の協働でがん患者・ご家族様を支援

当院では2018年3月から19年12月までの期間、3か月に1度のペースでがんサロンを開催してきました。ただ、20年初頭からの新型コロナ襲来により一旦、中断を余儀なくされましたが、昨年12月から再開することとなり、今回は3月27日(水)に実施する予定です。

がんの種類を問わず、体験された方、闘病中の方やご家族様が、気軽に立ち寄り、同じ不安を持つ人同士が交流・話し合い・支え合い・励まし合うと同時に、当院の専門医や医療スタッフが、皆様のお悩みやご相談に対応する場となります。運営にはがん性疼痛看護認定看護師の私と社会福祉士2名、更に様々な領域のがん診療に係るドクターが参加する予定です。主治医以外のドクターによる異なる視点からの意見やお話を聴くことは、患者様にとっては有益かつ貴重な体験になると感じます。私たちは今後、より多くの診療科の先生方、多職種の参加を呼びかけて、がんサロンの更なる充実と深化を図っていく所存です。患者様に役立つ講演や動画鑑賞、座談会等の企画に加えてサロン開催日以外も開放し、情報が得られ、皆様が寛げるスペースとしての環境づくりも進めたいと思っています。

## 「がん相談支援センター」との役割分担と連携

当院は専門的ながん医療の提供と、府民の皆様に適切な情報提供をする為に、大阪府が定める「大阪府がん診療拠点病院」の指定を目指しています。拠点病院になると、がんの相談窓口となる「がん相談支援センター」の設置が義務づけられます。先がけて、1階の医療・介護連携室に同センターの受付窓口を開設しましたが、同センター業務の一環として、「患者サロンの定期開催」等の患者活動への支援が織り込まれています。がん患者様・ご家族への個別の相談は同センターが担当し、がんサロンでは同じ体験を共有する人たちの集う場として、役割分担と連携を図ります。

サロンでは、がんに係る患者会等と医療関係者が共同で運営するピアサポート(注)・グループの活動が非常に重要と位置付けています。当院で治療されているがん患者様だけでなく、他の医療機関に通院されている方、「かかりつけ医」の先生方の支援を受け在宅療養されている方等も含めて、当院のがんサロンに参加して頂くのは、どなたでも大歓迎です。また、私はがん性疼痛看護を専門とする看護師として、患者様が痛みを我慢されていないかが気になっています。がんの痛みは進行度にかかわらず、早期からでも生じます。腹水でお腹が張る等の不快な感覚体験も、痛み治療の対象です。当院は22年度から「がん疼痛治療科」を新設し、

がんの痛みに対する治療を患者様とご家族と共に考えていくことが出来ます。がんの痛み治療は、がん治療(抗がん剤や放射線治療など)と同時にやる事が出来ます。がん治療を継続する体力や気力を維持するためにも、安全かつ適切な疼痛治療が大事であり、その啓発に力を注ぎたいと思っています。最後に、新型コロナ前に参加して下さった皆様には、長い期間、お休みし、ご迷惑をかけたことをお詫びし、改めてお目にかかれる機会を楽しみにしております。

\* (注) ピアサポート: がん患者・経験者やその家族が、ピア(仲間)として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族を支援すること。



次がんサロン

日時 3/27(水)14:00-15:30、  
場所 地下1Fヘアサロン「こもれび」前

## コロナ棟の解体始まる

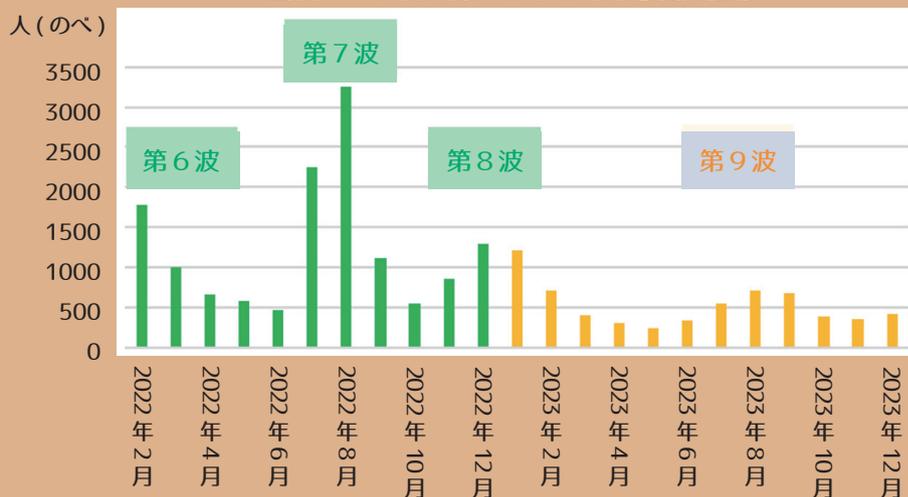
2019年冬以降、世界中でパンデミックを巻き起こした新型コロナウイルス感染症。この対応のために建てられたプレハブ棟の運用を1月8日で終了しました。

建物は病棟と診療のためのコロナ検査棟の2棟が建設され、第6波のさなか2022年2月に運用を開始。検査棟では多い日で一日300人弱の診療を行い、2年にわたって合計、入院患者約5,500人、外来患者約20,000人（いずれものべ人数）を受け入れました。

新型コロナウイルスが感染症法上5類に引き下げられたことや感染者数の減少傾向を受け、昨年12月中旬に運用終了を決定し、1月後半より解体作業に入りました。3月中には完全撤去の予定です。



当院コロナ検査棟における外来患者数推移



## 職員対象の災害対策研修を実施しました

2月17日、恒例の災害対策研修(職員対象)が行われました。

今回のテーマは「災害体験を聞く」というもので、阪神淡路大震災を経験した臨床工学技士、新潟県では様々な災害対策訓練があることを知る助産師、また台風6号(2023年)で停電を経験した薬剤師らが自身の災害体験を語りました。

最後に丸川征四郎顧問(元兵庫医科大学医学部救急災害医療学教授)より、災害時の対応、今や災害は“忘れないうちにやってくる”こと、人が負傷するのは災害そのものではなく、それによって引き起こされる二次被害(家屋の倒壊や火災等)であり、それらに対しては事前に対応をしておくことは可能であるといったことなどが語られました。



# ◇ 肺炎球菌予防接種（定期接種）のご案内 ◇

## 2023年度肺炎球菌ワクチン定期接種、2024年3月31日まで

当院内科では肺炎球菌予防接種を実施しています。本年度のご対象は、これまで23価肺炎球菌ワクチンを1度も受けたことがない下記の方です。当院で接種をお考えの場合は、事前にご予約をお取りの上ご来院ください。

診察予約センター：06-6878-1110（アナウンスが流れたら1をプッシュ）

予約受付時間：平日13:00～16:30 土9:00～12:30 日祝休

接種費用：2,000円



一部負担金「なし」と記載された予診票を持参の場合は無料になるため事前に吹田市保健センターへお問い合わせください。

## ご対象者

### (1) 生年月日

2023年(令和5年)度に	生年月日
65歳となる方	昭和33年4月2日生～昭和34年4月1日生
70歳となる方	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生
75歳となる方	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生
80歳となる方	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生
85歳となる方	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生
90歳となる方	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生
95歳となる方	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生
100歳となる方	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生

(2) 60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方（身体障がい者手帳1級を有する人）



医療法人徳洲会  
吹田徳洲会病院  
06-6878-1110 (代表)



介護老人保健施設  
吹田徳洲苑  
06-6878-9100 (代表)



〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西21-1  
<https://www.suita.tokushukai.or.jp>